



高畠町環境ワークショップ 第1回 よれは たかはた

発行日: 令和6年6月11日
 発行者: 高畠町企画課
 ゼロカーボン推進室
 TEL: 0238-52-1215

「よれはたかはた」は、自然と共生しながら、持続可能な高畠町を未来に引き継いでいくために、この町で暮らす人が「小さく 楽しく あたりまえ」に楽しく話し合い、環境にやさしい面白い活動を生み出す場です。

本日の進め方

1. 説明「よれはたかはた」とは
2. SDGsカードゲーム
 講師: 飯豊町地域おこし協力隊
 後藤 武蔵氏 小野 優太郎氏
3. おわりに

日時: 令和6年5月30日(木)
 19時~21時

場所: 糠野目生涯学習館 多目的ホール
 参加者: 26人

本日の地産地消メニュー
 環境アドバイザー八木さんの
 手作りおやつ
 もっちもちの「おやき」



ルール説明

小野さん 後藤さん

カードゲームを通して体感する持続可能な地域のつくり方「SDGs de 地方創生」は、SDGsの考え方をヒントに、地方創生における「全体性」や「対話と協働」の重要性を体感的に学べるカードゲームです



POINT①行政担当者、または住民として

行政担当者には毎ターン予算が配られ、まちを良くすることをゴールとして提示されます。まちで活動する市民には、一次産業従事者や、まち工場の経営者、一市民など様々な役が与えられます。使える予算は限られていますが、代わりに普段の活動を通じて得られる人脈があります。

POINT②まちの現状をあらわす4つの指標

まちの状態は「人口」「経済」「環境」「暮らし」という4つの指標で表されます。何も具体的な対策をしないしていると、人口は徐々に減少をはじめます。20年後も豊かに過ごせるまちとなるのか、それとも残念ながら消滅可能性が高い都市になるのか。それはゲームに参加したプレイヤーひとりひとりの行動によって千変万化いたします。

POINT③まちを彩る具体的なアクション

しかし、具体的にそれらの施策を実践したときにどのような効果が生じるのか、プレイヤーには明かされていません。まちに良い影響をもたらすのか、期待はずれにおわるのか、はたまた、まちにネガティブな影響をもたらしてしまうのか。自分の行動一つ一つがまちに与える影響を考えながらプレイして頂く必要があります。

カードゲームにチャレンジ



今年度第1回目のよれはたかはたで、新しいメンバーもたくさん参加してくださいました。最初は緊張ぎみだった参加者の皆さんもカードゲームが始まると積極的にコミュニケーションを取り始めて、最後には皆さんが一体となってどうしたら町が良くなるかを話し合っていました。最後に打つ手がなくなってしまって、啞然としましたが、「本当に何もできないかな?」「じゃあどうしたら良かったんだろう?」と参加者同士で話し合っているところもみられて第1回目に相応しい「対話」が重要なカードゲームができました!

参加者の声（アンケート抜粋）

- ・ワークショップの中で必然的に“対話”が生まれていたことが印象に残った。
- ・参加者の振り返りから、さらに学びとなるが多かった。
- ・沢山の方と話し合えて、言葉をかける勇気を学んだ。いろんな人に話しかけてもらえて楽しかった。
- ・SDGsという言葉は普段からよく耳にするものの、それを実現するためには何をすればいいのかを考えるきっかけになった。
- ・最初が肝心。対話が大事。人は城、人は石垣、人は堀…だと思った。